

令和8年8月6日

田舎館村議会
議長 平 田 隆 人 殿

報告者（代表）田舎館村議会議員
田 澤 隆

田舎館村議会行政視察研修報告書

1. 期 間 令和8年7月1日（水）～ 3日（金）
2. 研 修 先 ①人と防災未来センター（兵庫県神戸市）
②安満遺跡公園（大阪府高槻市）
③久御山町役場行政視察（京都府久世郡久御山町）
3. 研修目的 ①防災対策について
②弥生時代の遺跡を活用した公園運営について
③町独自の負担軽減策について
④行政、議会における広聴活動について
4. 研 修 者 阿保 勇人、浅原 尚子、中山 勝晴、田澤 隆、小野 正幸、
平川 重廣、平田隆人
5. 調査結果及び所感

① 人と防災未来センター （防災対策について）

田舎館村では到底無理だが、規模は小さくても防災意識をしっかりと学んだ。
(平川議員)

阪神・淡路大震災の凄まじい様子が当時の映像や震災体験者の話などをもとに再現されていると感じました。被害を拡大したのは朝の火を使う時間帯が地震と重なり火事となり数多くの人命が奪われたものと思われます。これらの教訓をもとに、まずは命は自身で守るとの思いを常に持ち続け対応できるように準備が必要と改めて思いました。
(小野議員)

国内でも最大級の直下型地震の脅威とその後の復興にかかわる人々の思い、つながり、行動、協力体制など事細かく知ることができた。青森県内でも近年多発している地

震のことを思うと、参考になる事が多いと感じた。

(田澤議員)

いろいろな体験や学習のできる施設を視察出来ました。村としても、いろいろなテーマを設けて防災について学習する場を設けてはと思いました。

(中山議員)

人と未来防災センターでは、阪神・淡路大震災の被害や復興の歩みを学び、災害の恐ろしさを改めて実感しました。当村において大規模災害が発生した際には、行政や議会がいかに冷静かつ迅速に判断し、住民の命を守る行動を取れるかが重要であると強く感じました。今回の学びを、防災・減災の視点を取り入れた施策に生かしていきたいと考えています。

(阿保議員)

② 安満遺跡公園（弥生時代の遺跡を活用した公園運営について）

しっかり整備された公園や施設にどれだけ投資し維持管理の徹底。そこまでできる資源力に圧倒でした。

(平川議員)

国の史跡指定されている安満遺跡は 2500 年前の弥生時代の集落跡を含む墓地跡や遺物なども展示されていて、村との比較にもなると思いましたが、ここは以前、京都大学の研究用地であったとの事で建物も重要部文化財に指定されていて、現在では一般の人々に広く利用してもらうために開放されている施設になっています。

しかしながら保存方法については、田舎館村は自信を持って運営してもいいのではないかと思います。遺跡と公園を抱き合わせた史跡指定に特に興味を持ちました。

(小野議員)

本村と同じような弥生時代の遺跡を活用した公園だが、その規模やコンセプトは規格外だと感じた。当時の住居跡や墓地跡、生活用品などの発見が歴史資産として扱われた事が垂柳の場合と大きく異なり、国や大阪府、高槻市が取り組んだ見事な事業だと感じた。本村の遺跡の活用に対する参考には程遠いが課題の一つとして考えていく事案だと改めて思った。

(田澤議員)

施設も充実しており、市民の憩いの場的な公園であり、村にもあればと思いました。

(中山議員)

平日にもかかわらずにぎわっていて、レストラン、子どもが遊べる室内遊具場、ゆっくり休めるスペースなど、指定管理先もきちんとした企業が入っており、そつなく運営されていて来園する人が満足できる。雨天に左右されずに過ごせることも良い。

田舎館の道の駅と規模も同じくらいかな。手入れも行き届いていて気持ちよかった。

(村は) もっとしっかりした管理が必要と感じた。指定管理先は専門にやっている企業がよいと思う。

(浅原議員)

安満遺跡公園では、史跡を保存するだけでなく、子どもたちが自然と集まり、遊びながら歴史や文化に触れられる環境づくりが非常に印象的でした。人工芝やサンシェルターなど、利用者目線の整備を入り口とし、その先に弥生時代の歴史や文化への理解につなげる工夫は大変参考になりました。

また、その目的を実現するための指定管理者の選定や運営手法についても、多くの学びを得ることができました。（阿保議員）

③ 久御山町役場（町独自の負担軽減策について／行政・議会における広聴活動について）

久御山町は 1500 社を超える企業や工場を誘致して固定資産税や法人税が得られ、国からの地方交付税に頼らず安定した財政運営が出来ている町です。そうした中で、議会における広聴活動は議会と地域住民の交流の場としてたくさん活動されており、町の広報として住民に配布する資料は、シルバー人材センターに委託されているとのことです。大変驚きました。（平田議長）

人口減少、高齢者の買い物。田舎館村と類似した問題で、いかに運転ができない高齢者に救済の手を差し伸べるか。私が質問したところ、デマンドタクシーを導入し、行政の無料サービスから脱却したことを伺った。高齢者が幾らかの金銭で利用できるようにしていけば何時でも利用できるようになっていくのかな。（平川議員）

国庫・府の支出金を活用し様々な分野で助成事業を行い、育児用品の 3,500 円／月配付、小中学校の新入学児童学用品補助金、要介護 3 以上の家族介護支援金など、子育て・教育・福祉において村でも必要であるとの考えから検討の余地があると思われます。また産業施策は環境にやさしいマルチ等農業資材導入補助、がんばる農業応援事業による認定・一般農業者、スマート農業等に対する補助など魅力を感じる者があった。今後参考にして取り入れが可能なものがあれば、是非前向きに考えていいのではないかと印象を持った。

まちづくりディスカッションの活用について、行政が住民から意見を聞き取るのではなく、ディスカッションを通して住民が自分の町に自信を持ち積極的にまちづくりに参加するきっかけとなることを目的に開いている活動で、色々なテーマを決めて話し合いをする機会を設けることに村でも参考になるのではないかと思います。

また住民と議員が自由に話せる懇話会や各種団体との懇話会など、さらに町議会モニターなども参加者や住民に興味を持ってもらうには必要なことと考える。広報紙についても一目でわかるように工夫されているようにも感じられる。さらに議会だよりは質問から答弁まで詳しく小冊子としてまとめられていることに村でも検討してはと考える。（小野議員）

人口が本村の 2 倍と少しの特段に大きな町ではないが、農業と工業を主軸とした町らしい。役場まで往復した車中から見た感じは農業のイメージは殆ど無く、工業関連の会社や事業所・工場が多く、現在工事中の大規模な現場（高速道路や建物など）も多くと見られた。久御山町の議長が挨拶の冒頭で約 1,500 社の会社があり、日中の

人口も多く、町の財政も非常に良好な状態であると言われたことが理解できた。

自主財源も多く財政が良好な事は住民サービスに生かされている話も各担当者の説明でよく理解できた。住民の要望や期待に応えようとする行政側の取り組みも、質の高さとスピードがあり町全体に活気があると思えた。

全てが参考になる訳ではないが、乗合タクシーの活用の仕方など興味ある話も聞くことが出来た。

出産・子育て・教育施策関係の全国一を目指す町として、これらの予算の多くを国や京都府に頼らずに進めている事は素晴らしいと思います。（田澤議員）

子育て関係の負担軽減が充実しているし、高齢者関係では町独自のデマンド乗合タクシーを運行しているし、産業関係では、がんばる農家応援事業や高温対策営農支援事業補助金など充実しているので、そのようなことに取り組んでいきたい。

また、村としてもライブ配信をしてみてはどうか。また、議会モニターをしてみてはと思う。（中山議員）

久御山町は川沿いの制限区域を取り払うことで誘致企業が増え、町全体が活性化した。既存のままでは人口減少など止められないという危機感を持って動いたことが良い結果につながったと思う。自ら財源があると言える町は素晴らしい。

行政・議会における広聴活動については、自治体が労力を惜しまず、モニター制度やテーマ別に募集したりなど住民の興味をひくような取り組みを根気強く続けていることを、今後村でも見習いたいと感じた。

既存の行政サービスも常に精査し、自治体・住民が一体となって新しいより良い利便性の高いものにするために取り組んでいる姿勢は素晴らしい。（浅原議員）

久御山町では、議会モニター制度や住民説明会など、住民参加型のまちづくりを積極的に進めている点が印象に残りました。特に、情報発信においては、スマートフォンよりも広報紙の反応が良いというお話が大変興味深く、全国広報コンクールで入選するなど、高い評価を受けている広報紙であることを知りました。

また、広報を支える仕組みとして、シルバー人材センターへ有料で広報紙の配布を委託していることも参考になりました。

当村においても、シルバー人材センターや子ども会、消防団などの地域団体と連携し、より効果的な情報発信の仕組みを構築できる可能性を感じました。

今回の視察を通じて最も強く感じたことは、情報の届け方がまちづくりを大きく左右するということです。防災・減災、歴史・文化の継承、子どもたちの居場所づくりなど、どれも行政が一方的に発信するだけでなく、住民に届き、見てもらい、行動につながる情報であることが重要であると感じました。

今回得た学びを今後の議会活動や政策提言に生かし、住民一人ひとりに寄り添いながら、より安全で魅力ある田舎館村のまちづくりにつなげていきたいと考えています。（阿保議員）

< 人と防災未来センター >



< 安満遺跡公園 >



< 久御山町役場行政視察 >

